

知的障害のある人・精神障害のある人が受けたことのある配慮

| No. | 障害種別 | 場面 | 受けたことのある配慮 | 配慮を受けられない場合 |
|-----|------|--------|--|---|
| 1 | 知的障害 | 公共交通機関 | 空港で手荷物検査を受けなければならないが、職員から息子に予想外の質問が来た場合、本人1人ではパニックになる。保護者が搭乗口でその事情を説明したところ、「1人のみ飛行機に乗り込むまで見届けることができる制度があります。利用されますか。」と説明があり、保護者1名が本人に付き添うことができた。また、息子の情報は、関係職員にすぐに伝達されたようで、安心して飛行機に乗せることができた。到着した空港でも本人の情報が伝達されており、飛行機会社の職員の配慮に感激した。 | 宿泊を伴う遠距離の移動は不可能となる。 |
| 2 | 知的障害 | 公共交通機関 | 窓口で、療育手帳を見せると、本人にも分かりやすく説明してくれ、スムーズに利用できて助かる。 | パニックを起こすか、嫌な印象が残り、次の利用が難しくなる。 |
| 3 | 知的障害 | 買い物 | 一人で買い物に行った時、分からないことを聞いたら教えてくれる。 | 一人では買い物が難しくなる。 |
| 4 | 知的障害 | 医療・福祉 | 病院で大きな声を出したり、診察室にも入れない状態だが、やさしく接してもらい、医師が待合室まで出てきて様子を聞いてくれるので助かっている。 | 受診が難しくなる。 |
| 5 | 知的障害 | 医療・福祉 | 行きつけの病院で待つ時に、外に止めた車で待って良いと配慮してくれて、順番になると車に声を掛けてくれて診察してもらっている。（特に人が多かったり、泣き声を出す子供がいたりする場面での配慮） | 病院にかかることは難しく、連れて帰るしかない。 |
| 6 | 知的障害 | 飲食店 | 視覚的なメニューなどが準備されていて、分かりやすく選びやすい。 | メニューを選ぶのに時間がかかる。または、選べない。見てわかる視覚的な支援は、万人に役立つ。 |
| 7 | 知的障害 | その他 | バリアフリートイレがなく、息子を男性トイレに一人で入れるが、なかなか出て来ないので大声で呼んでみると、障害のことを理解してくれている方が連れて出てきてくれた。たまたまなので、いつも理解者がいるわけではないのが心配で不安。 | 困り果てるしかないし、自分が異性のトイレ内に入り込むしかない。 |
| 8 | 知的障害 | その他 | 本人の様子を感じて声掛けやフォローを相手の方がしてくれること。 | フォローが無い場合は、本人なりにあきらめたり、我慢したりしている。 |
| 9 | 精神障害 | 買い物 | スーパーの担当者が、商品の置かれている場所など、親切に教えてくれた。 | 今後、生活していくのに困る。 |